



大阪歯科大学

兵庫県同窓会報

97年度

55

も く じ

| | |
|------------------------|---|
| たゆまぬ歩みを …… 中塚会長 …………… | 1 |
| 平成9年度第3回合同会議 …………… | 2 |
| 第2回兵庫県同窓会役員会開かれる …………… | 4 |
| 分会・支部だより …………… | 5 |
| クラス会だより …………… | 8 |

『たゆまぬ歩みを』



大阪歯科大学
兵庫県同窓会会長

中 塚 裕

たゆまぬ歩みを続けてきました母校大阪歯科大学は創立85周年を迎え、5月には楠葉の新キャンパスで盛大な記念式典が催されました。本県からも大勢の先生方にご出席いただき、この紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

さて、明治・大正時代の某教育家は、人間の修業は一生続けるべきもので、学校はその修業の方法を学ぶところであり、一生涯、卒業などということがあるべきではないと言っています。とりわけ歯科医学に携わるものにとって生涯研修は、自らを向上させるだけでなく、医療人として課せられた責務であり、たゆまぬ研鑽を積まなければならないと考えますが、その拠り所となるのが母校であり、同じ学舎に学んだ同窓の士ではないでしょうか。

年代の違いはあっても、同窓ということで、どちらも同じように培った青春時代を思い起こし、私のときはこうだった、ああだったと目

を輝かせて話をするのできる同窓会は、たゆまぬ歩みの中でひとときの安らぎをもたらします。そして、その場を提供し、親睦の和を広げていくことが、同窓会の大きな役割の一つであり、幾多の諸先輩によって綿々とその活動が支えられてきました。

目まぐるしい変化の中で、今、日本の医療保険制度も抜本的改革のときを迎えています。こんなときだからこそ、われわれは、地に足をつけた歩みを続けなければなりません。

同窓会執行体制も新しくなりましたが、これからも、本部との連携を強化しながら母校を見守りつつ、日々の臨床に精励するとともに、兵庫県1500同窓会員の親睦を図っていく所存です。会員の皆様のご理解、ご協力をお願い致しますとともに、ご指導ご鞭撻のほど、重ねてお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

平成9年度 第3回 合同会議

分会長・支部長・クラス幹事

分会の設置基準などについて協議

日時 平成9年10月30日(木)午後4時

場所 兵庫県歯科医師会5階ホール



大阪歯科大学兵庫県同窓会では、平成9年10月30日(木)、午後4時より、兵歯会館5階ホールに於いて、分会長、支部長、クラス幹事合同会議を開催した。

司会は、和田専務理事により進められ、開会の挨拶のあと、中塚会長は、今一番問題になっている医療保険抜本改革について、すこし触れさせていただきたいと前置して大要次のような挨拶をした。

〔中塚会長 挨拶〕

今年の年初より、国は非常な赤字財政がつづいており、この財政を何とか改革しなければならないと、閣議では6つの分野についての改革が決定した。これはご承知の通り、まず行政改革、経済構造改革、財政、金融システム、社会保障制度の改革、もう一つ教育システムの改革です。その中で、一番お金を使うのは、社会保障の分野です。

社会保障には、医療、福祉、年金の3つの大きな柱があります。その中でも一番お金がかかるのは、医療費で、毎年1兆円づつ増えつづけ

ている。このような大きな医療費の構造改革が推進されている中、政府自民党の社会部会では、平成10年度の医療費改定は、1000億と試算している。

この数字が当然、明年度の攻防戦となるわけです。歯科医療費は、医療費のシェアのうち毎年約10%前後で、約100億程度が年間の数字になると思う。

厚生省は、歯科医療費のマイナス面をカバー出来るようなもの、たとえば特定療養費制度などの導入を考えているようだ。1000億の攻防、どのようにして決めるかは、自民党であります。

自民党には、現在日歯の中原会長、大島よしひさ先生がおられる。このお2人が、今自民党の政府与党で、発言し我々の医療費の問題について、真剣に取り組んでいただいている。この1000億の攻防が、平成10年度の歯科医療費に非常に重要な問題となっている。大島先生に関しては、皆さん方に格別のご支援をいただいております。

兵歯のバックボーンは、大歯大の同窓会で、先生方の一致団結の力をもって、我々の歯科医療費が、平成10年度はマイナスにならないように、先生方のお力を借りながら、国会の方へも陳情にまいるたい。と挨拶した。

次いで嘉南海副会長が、座長に選出されたあと、議事録署名人に、安留力(西宮分会長、大学5回)と入江恒夫(大学15回幹事)の両氏が指名され、報告に入った。

〔報告〕

①会務報告(和田専務)

新分会長・支部長・クラス幹事を紹介した後、今回の合同会議から、役員側の出席メンバーを専務理事以上と各担当常任理事の筆頭者に行っていることを報告。

②会計報告（西海常任理事）

資料に基づき平成9年9月末現在の会計現況を報告した。

③本部報告（和田専務）

大学創立85周年記念式典に際して、会員の協力を得て兵庫県同窓会として経済的賛助を行った等経過報告を行った。

次いで、協議に入り

〔協議〕

①分会の設置基準について

②平成10年度会員大会について

③学術講演会について

④その他

①の分会の設置基準については、長年の懸案事項であったので、皆さん方ともよく検討していただき、時代にマッチした分会組織をつくりたいと説明があったあと、活発な意見交換がなされた。

②の今年の会員大会は、尼崎分会のお世話で、8月8日(土)新神戸オリエンタルホテルで開催されることになっている。

③の学術講演会については、平成10年2月7日(土)、兵衛会館にて、演題“大阪歯科大学新病院の口腔インプラント科紹介とインプラント治療の展望”と題して、大阪歯科大学附属病院 口腔インプラント科科長 川添堯彬氏による講演会開催についての説明があった、閉会した。

第2回 兵庫県同窓会役員会開かれる

平成9年10月9日(木)午後2時より第2回兵庫県同窓会役員会が、兵庫県歯科医師会第7会議室で別掲の通り開かれた。

今回は経費の節減と、多く活発な意見を得るため、会長を始め副会長、専務理事と、常任理事は各部署から1名ずつ、ヘッドだけの出席を求めるといふ、極めて小人数の会議となった。このような形の役員会は初めての試みとなった。その中で今年度は5月に全国会員大会が開催されたので、兵庫県の会員大会は開かなかったが、来年度の同窓会の事業は、会員大会の開催を含めてどのような形で進めて行くか、また同窓会の在り方など、協議題に揚げられた各項目について、意見が交わされた。この意見は、10月30日に開かれる分会長・支部長、クラス幹事合同会議で、協議題の提案理由に生かされ、会議に諮ることになる。

大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会

日時 平成9年10月9日(木)午後2時

場所 兵庫県歯科医師会館会議室

(司会) 専務理事 和田 透

1. 開 会
2. 挨拶 会長 中塚 裕
3. 座長選出
4. 報 告
5. 協 議
 - 1) 分会長・支部長、クラス幹事合同会議の開催について
 - 2) 分会の設置基準について
 - 3) 平成10年度会員大会について
 - 4) 予算処置について
 - 5) 学術講演会について
 - 6) その他
6. 閉 会





分会・支部 だより

三原支部

大歯淡路三原支部は現在13名の会員で構成されています。私達同窓会員は三原郡全会員の約1/3をしめています。

他の大学卒業の先生方とも和気あいあいの関係で各会務に親睦につくしております。しかし我々地方会に対しても、地域の住民や患者の見る目が厳しくなっています。薬づけ、検査づけ、3分間診療などと言われて久しいが、昨今はさらにインフォームド・コンセントの不足や医療の質に対する不満もでています。医療政策は、当初から医療体制の統制を目指す行政側と、医師の裁量の自由を確保したいとする私達の対立のように思われます。その狭間に置かれている私達会員は、今や非常にむずかしい立場にあると思います。地域住民の減少と会員の増加等考えさせられることが山積しているようです。患者に対し、また後進の先生方に対し、我々はどうのように話し対処するべきか、これからの地域医療に関して、より優れた医療の提供ができ会員相互の発展につながるよう努力していくつもりですが、本会の役員の先生方にもご指導をお願いします。

(糸田英俊)

尼崎分会

近江路長浜へ日帰りバス旅行

尼崎分会におきましては、水野分会会長就任以降、今まで以上に会員間の親睦と融和を深めることを活動方針の重点の一つとしております。そこで長い間中断しておりました貸切バスによる日帰り旅行を企画し、楽しく有意義な一日を過ごしましたので御報告致します。

8月30日土曜の午後、又夏休み最後の週末でしたので名神の渋滞を心配しておりましたが、スムーズに長浜へ到着。車中あちこちで、日頃仲々ゆっくり話しをする機会のない会員同士の話の輪が広がっておりました。最近町興しで、ガラス工芸館を中心として美しくなった長浜の街を散策しながら、各グループで母校の事、仕事の事、家族の事等々を話していると、色々な情報を得たり、又先輩後輩の知らなかった一面を見つけたりと、やはり同窓会の地方分会レクエーションは必要なものだと思認識した次第です。などと考えている内に夕食の時間となり、会場の千坪庭園を誇る「鮎留楼」に全員再集合。美しい庭園を眺めながら、川魚と近江牛を中心とした御料理を頂き、会員同志のみならず、奥様方や御家族同志も、楽しい話題で大変盛り上がり、アットホームな宴席でありました。

楽しい時間はあっという間に過ぎて帰路につき、途中の事故渋滞も寸前の所で回避出来て、スムーズに尼崎へ帰着。参加者の皆さんが口々に来年も企画して下さいと、おっしゃりながら全員無事解散となりました。

今回参加出来なかった先生も、「同窓会の分会なんて余り知った人もないし…」と思っておられる新入会の先生も、次は是非参加して下さい。考えてみると、同じ地域で同じ職業の大学同窓生集団なんて、そう沢山あるものじゃない。そう思うと自然とこの分会を大切に、そこに集う私達のふれ合いと団結を大事にして行きたいと思えて来るのは私だけではない筈です。

今後の尼崎分会の諸活動に、積極的なご参加ご協力を改めてお願い致します。

(重岡 潔)

垂水支部

楠葉新キャンパス、天満橋新病院の落成記念祝典も無事終了し、気分的に一段落がついた6月21日(土)午後5時より、南京街雅園酒家本店にて支部総会、懇親会を開催した。

支部長藤井昭氏の挨拶で始まり、新入会員の平田憲雄、坂口雄一両氏が紹介された。会務報告、神戸分会報告のあと、糸永雄二郎氏が細菌学で晴れて学位を取得された事が報告された。

議事に入り平成8年度収入支出の決算を承認し、かねて勇退を表明しておられた藤井支部長の後任に、板倉紘一氏が次期支部長に満場一致で選出された。

懇親会には、和田透県同窓会専務理事をお迎えして、和やかな雰囲気のもと豪華な料理に舌鼓を打った。和田専務には翌日奈良での会議を控えてご多忙の中、二次会までお付き合いしていただき恐縮しました。

(板倉紘一)



西宮分会

西宮分会では、平成9年5月31日現在、147名の会員数です。

西宮分会平成8年度定時総会、学術講演会、懇親会が、平成9年6月28日(土)甲子園都ホテル、1Fで開催された。

午後3時30分～4時20分 定時総会
午後4時30分～5時50分 学術講演会
午後6時～8時 懇親会

総会では全ての議案が原案通り可決された。学術講演会では、講演テーマが“ケモメカニカル クリーニング”について(合理的な根管拡大法)で、講師に、大阪歯科大学口腔治療学講座、講師 畠銀一郎先生をお招きして行われ、熱心に会員は聴講した。懇親会は、和田茂之先生の乾杯で始まり、会食・歓談後、散会した。

例年どおり9月15日の敬老の日には、70才以上の会員の先生に、心ばかりの品を贈呈致しま

した。平成10年2月には、会員レクリエーションとして、丹後半島(網野)へ、1泊旅行をし、カニを食べながら相互親睦を図りたいと考えております。今後も「会員の福祉と相互親睦を図り、かつ歯学の研修につとめる」とする同窓会の目的達成に向けて努力したいと思っております。先日、西宮分会にとって悲しい出来事がありました。

平井博先生(69歳、専門30回)が、平成9年8月28日新神戸オリエンタルホテルで、暴力団の内部抗争の巻き添えとなって凶弾に倒れ、神戸大学付属病院で、9月3日午前5時40分亡くなられました。西宮の会員にとりましては、青天の霹靂であり、残念無念としか、言いようがありません。卑劣な社会悪に対して、憤懣やる方ない思いで一杯です。

心からご冥福をお祈り致します。合掌

摂津分会

平成9年9月21日(日)に学術講演会および平成8年度摂津分会総会並びに懇親会を開催いたしました。

学術講演会は、摂津分会会員でもある近畿中央病院口腔外科部長の薬師寺 登先生を講師にお招きして、宝塚市歯科医師会館において開催いたしました。

口腔外科 Up to Date という内容で兔唇、口蓋裂から口腔腫瘍まで多岐にわたって臨床例を解説いただきました。時間の制約があったにもかかわらず、非常に素晴らしい講演でありました。

講演終了後、会場を創作懐石レストラン「宝仙花」に移しまして、45名の出席して、総会を開催致しました。

芦屋支部の明石貴雄先生を議長に選出し、加宮義郎分会長のあいさつ、各種報告のあと、全

ての議案を全員一致で可決承認いたしました。平成9年度から分会長に新しく伊丹支部の井上典丈先生が就任され、現幹事の吉崎久也、西川浩光両先生は留任となりました。井上新分会長のもと、芦屋、伊丹、川西、宝塚の四支部会員がまとまり、摂津分会としての同窓会活動を活発におこなって行くことが確認されました。

八竹良清先生の乾杯発声で懇親会に入り、美味しい料理とうまい酒を堪能し、楽しい親睦のひとつきを過ごし、記念撮影、学歌斉唱でお開きとなりました。

摂津分会は四支部で構成されていますので、新しく会員になられた先生を紹介する機会が限られます。講演会や総会で紹介させていただき、会員同士の親睦を深め、160数名全員が顔見知りであることを目指しています。新しい先生はもちろん、より多くの先生方が摂津分会行事に参加いただくことをお願いいたします。

(沢 茂)

お知らせ

大阪歯科大学同窓会学術講演会

下記日程で大阪歯科大学兵庫県同窓会学術講演会を開催いたします。

日 時：平成10年2月7日(土)

(講 演) 午後3時～午後5時

(展 示) 午後2時～閉会時まで

場 所：兵庫県歯科医師会館

演 題：大阪歯科大学新病院の口腔インプラント科紹介とインプラント治療の展望

講 師：大阪歯科大学附属病院 口腔インプラント科科长 川添 堯彬氏

(大阪歯科大学歯科補綴第二講座教授)

展 示：インプラント関連器材

主 催：大阪歯科大学兵庫県同窓会

この講演会は大阪歯科大学同窓会会員以外の先生がたも自由に聴講下さい。

(生涯研修カードを持参下さい)



専門11回・昭和6年卒

神戸市内では原口正一兄と只二人、淋しい限りです。

母校も85周年を迎え校舎と附属病院の新築は正に飛翔の姿であり、只々、感激、共に祝福し更なる発展を祈りましょう。

(釜田彰介)

専門13回

匠詠 ぬかご 佐本洛木
隠栖に濯ぎの夜なべ自ら
冬近し雀隠栖のぞきこむ
箱庭やぬかごの蔓のよろべなき
箱庭にももの命の令余子かな
更地なる向日葵一基冬近し
隠栖の戸に忘れめや今日の菊
炭手前乙女すずしく仕つる
えびね咲く山懐や練供養

専門18回

わが母校大歯開校85周年を迎え、此の程、枚方市樟葉に偉容を誇る新学舎が目出度く竣工した。感無量である。我等専門18回生（昭和13年卒業）は平成10年が60周年記念の年に当たるが、丁度、世界一の明石海峡大橋完成の年でもある。我々130名が同時に牧野の学舎を巣立った当時は、戦時体制下にあり、其の大半は直ちに陸海軍部隊へ配属となり、戦場で困苦欠乏に耐え悪戦苦闘に或いは傷つき倒れ、殉国の華と散って

いかれた級友も数少なくない。

私自身も8年に及ぶ青春の時代を軍務に身を捧げ戦傷を負う等、終戦により辛うじて九死に一生を経た帰還者の一人でもある。

此の処、懐かしい同士の訃報が相次ぎ胸痛み誠に残念だ。県下の健在同期生8名を含め、今、全国で僅か30名に減ってしまった。

去る6月8日に大阪の加藤信一君が亡くなられ、お通夜に大崎君、大浦君らが、告別式には溝井君らが参列して下さいました。茲に改めて同君の在りし日の温容を偲び、痛惜の情に堪えず、心よりご冥福をお祈りし、謹んで哀悼の意を表します。

サムエル・ウルマンの〈青春〉の詩の一節に、年齢を重ねるだけで人は老いない／理想を失う時、はじめて人は老いる／自分の心を信じる時、青春であるのだ／希望を捉える心、それが本当の意味の若さなのだ／明るさと若さを持ち続ける事が、永遠の青春なのだ。とある。

思うに、若木には特有の美しさあり、その威勢の良さは、見ていて清新な躍動を感じさせる。然し、樹木にあっては、老樹の木肌は荒れてはいるが、大地に深くしっかり根を張って、より高く存分に伸びた枝ぶりこそ素晴らしい。

正に、それが風雪に耐えた証であり偉大さを覚え、実に見事である。人も亦同様に、耐え難きを耐えるべき幾度かの人生試練の節目が必要だ。自然の恵みに感謝しつつ、謙虚に誠実に、美しさを加えて行きたい。

年輪と共に相携えて心を暖め合い、明るく燃え続ける生命の灯を、大切に守り歩いて行こう。

(湊 信一)

専門20回

兵庫県在住の仲間は七人になってしまった。昨年有馬の古泉閣で「はたち會」をやった時たった八人の参加者だけだった。その時車で到着したばかりの磯島君が気分が悪くなり會にも出ずに即入院。その時同乗していた津島君と石上は運転していた彼が倒れたら危ないところであった。磯島君は其の後すぐ良くなり元気で診療に

あたっている。津島君は奥さんが具合が悪くて介護に精を出し、好きな魚つりにも行けず気の毒だ。慶徳君は大腸癌の手術をしたらしいが私が電話した時は祭のみこしを見に行っているようだったので良くなったのだろう。須沢君は元気で診療しているようだ。岡田一三君とは三宮センター街で会ったが元気そうだった。島谷君とはいつも紀寿の会で会うが今年も会いたいのだ。

今私達はたそがれのくらやみを歩いている。何も明るいニュースはない、今年も古泉閣で「はたち會」があるがなつかしい顔に出会ってささやかな楽しみを見出したい。

(石上隆章)

専門21回 天作会

平成8年度の天作会総会は、石川県が当番で、金沢の松井宣和君と、丸山利一君のお世話で、山代温泉山下屋旅館で、盛大に開催されました。出席者は29名、内同伴者7名、未亡人1名でした。

平成8年度の物故者、磯野君、大村君、林君、菊山君、岡田貫三君の霊に対し全員心から哀悼の意を表し、1分間の黙祷を捧げました。総会は順調に終了し、記念撮影の後、松井君の司会で宴会に入りました。此の旅館は歴史は古く、加賀の殿様も泊まったという本陣で、宴会の前には、城中酒盛りの段と称して、ほんぼりの灯りのもとで、大奥のお姫さんに扮した美しい女性が、にごり酒を注いで巡り、三谷君の発声で乾杯、全員陣羽織を着せられて正に大名気分で



ありました。

60年前に全国から集った若者達が、4～5年の共同生活で実った友情が、現在迄続き、北陸の温泉の中で、又酒を汲み交わしながら、長年の苦労や経験を語り合うなんて本当に心の休養であり、人生のオアシスであるような気がします。語り明かして寝不足の人もありましたろうが、翌日は朝食後、観光バスで、那谷寺、ゆのくにの森、寺井九谷焼資料館等名所を見学し、2時頃駅又は空港で解散しました。当日の出席者は、板谷、上田、江見、堀内、森田、米田、丸山、三村、大塚賢司、小寺、亀谷、越村、後藤、中村の14名と同伴の方、稲垣、大島、大塚立人、北井、日野、松井宣和、三谷の14名と米山夫人、計29名でした。(敬称略)

又、平成9年5月24日、大歯13回全国同窓会会員大会が楠葉新キャンパスに於て、盛大に開催され21期からは板谷、上田、大塚賢司、後藤、中村、日野、深見、味村、森田、小寺の各君が出席しました。尚平成9年度の総会は、奈良県の上田、森田、堀内の3君のお世話で10月4日(土)に奈良市のわかさホテルで開催されます。又次号で報告する事になると思います。

(小寺長蔵)

専門23回 二三会

今年の二三会総会は、5月24日の大学樟葉新学舎完成同窓会85周年記念式典、天満橋付属病院新築披露の大学および同窓会挙げての記念行事挙行に日程をあえて同調、お互いに相乗効果をねらって会員多数の参集を期待し、夕刻18:00アベノ「新宿」に会合した。幹事役は佐々木、安田、永田君ら大阪の先生方の格別のご尽力、それにクラス代表の角田君は夫人同伴関東からの参加、遥々沖縄から中川君の黒い顔で社会に活躍を報告、九州南端枕崎から下肢不自由ながら磯橋君の来阪には敬意。他、金光(福岡)村田(広島)、中本(鳥取)小沢(田辺)成田(奈良県)内藤(舞鶴)と健在、地元ながら山口、青山、笹井、木下、木村と大阪勢の協力には感謝、震災後?兵庫県からはどなたも体調悪

しく寂しい欠席、静養恢復次回の勢揃いを祈念し、総会報告といたします。



追伸 平成9年5月以降
訃報 大阪 木村 芳二君 総会出席が最期でした。

大阪 曲直部(高橋)康之君
謹んで ご冥福をお祈り申し上げます。
(八竹良清)

専門26回 二六会

兵庫二六会の諸兄御変わりありませんか。誌上を借りてお伺いします。昨年は堀君が欠けて平成9年度は総勢15名。但し消息のはっきりしているのは13名です。本年1月に新春の集いの案内をしましたが、参加者は7名でした。常に出席して頂けるのはこの位の人数で顔振れが固定されつつありますのは残念なことです。何か故障のある方はどうか元気を出して早く回復し次回には是非出席して下さい願います。



全員喜寿を迎えていますので、兵庫共済会の喜寿厚生年金授与式には出席されることと思

ますが(この稿がお目にとまる頃はもう済んでいます)その節には一つのテーブルで歓談出来るのを楽しみにしています。近い内に二六会の案内を差し上げますのでお待ち下さい。本年1月の新年会時の写真をお目に掛けます。出席者は皆元気で現役を保っています。

(田村 正)

専門27回 牧陵会

平成9年9月28日29日実行委員長堤君始め、大阪在住者の御世話で、昭和22年大阪歯科医学専門学校を卒業、敗戦の混沌の社会に出て、50回記念の牧陵会(専27回同窓会)を開きました。9月28日午後3時ハイアット・リージェンシー大阪ホテルに集合、WTC(東洋一高い)コスモタワー展望台に登り、大阪市内はもちろん、明石海峡大橋迄眺める事が出来ました。午後5時30分WTC48階の宴会場に集合、記念写真撮影、6時より総会、木村君の司会で始まり稗田会長の挨拶、同級の物故者に黙祷、庶務会計報告等を菊地君が報告、フランス料理で懇親会に移り、北島君が御出席の奥様方の紹介、堤君が歓迎の挨拶、本日出席者が御自分の現在の状況を詳しく報告されました。珍しい事は篠原君がスペインに在住されて居られますが、わざわざこの会合の為日本に帰国し出席されスペインの生活を話されました。総会の議題で、牧陵会次期開催地が明石海峡大橋が来年4月開通で、神戸が当番になりました。懇親会終了後、ハイアット・リージェンシーホテルに宿泊、9月29日朝食後、午前9時観光バスにてホテル出発、海遊館1時間30分見学、大阪ドームの横を通り、大阪歯科大学附属病院に着く、古跡院長の御挨拶の後、13階より2階迄、各階の病室診療室、X線等医局の先生に説明して頂き、立派な病院の施設を見学し、70才の私達感心するばかりでした。後病院の14階ホールレストランにて昼食をとる。堤実行委員長の別れの挨拶があり、来年神戸でお会いする事を約束する。京都方面の方は解散、残りの者はバスにて大阪ビジネスパーク、大阪城を車上より見て大阪駅で全員解散。

当日の神戸の出席者は森鼻、西原、高津、壺坂夫妻、高端の諸氏が出席されました。出席出来ない方は静養され、一日も早くお元気になられ、来年度の牧陵会総会に御協力される様お願いします。
(高端友之)

専門28回 二八会

我々のクラス「にはち会」は昭和23年卒業から卒業後49年経過した事になる。皆古稀を通り過ぎ、そろそろ老境の域に達している。未だに現役で働いている者も居れば診療を二世にまかせてのんびり余生を楽しもうとしている者も居る。大正、昭和、平成と三代に亘って激動の世の中を経験した苦勞の人生であったが見方によっては豊かな経験を過ごして来たとも言える。その意味でも5月24日の大齒80周年記念大会は感慨深いものがあつた。立派に完成した楠葉の新学舎、天満の新病院、見せて戴いて今昔の感を新たにした。夕刻より会場を大阪駅ビル内のホテルグランヴィア大阪に移し「にはち会」の総会及び懇親会が開催され全国から集まった旧友、同伴者も含めて40名近くが集まり旧交を暖める事が出来た。因みに兵庫県より出席したのは磯貝、鎌田、今井の三名であつた。兵庫県の「にはち会」の皆様、会長の志築君を亡くした事、大震災の後遺症等あって何だか沈滞気味ですが、少しでも長く生きて、又お目にかかる事が出来る様、期待して居ます。御自愛下さい。
(今井 記)

専門30回 みとわ会

兵庫県みとわ会の先生方お元気ですか、早いもので1997年も10月になってしまいました。私は1950年3月、大阪歯科医専を卒業し今年47年目になります。考えて見ると世の中の通例として普通サラリーマンなれば、とうに定年になっているわけで、私達の場合は幸せにも専門職であり自由業であるが故に健康であれば幾つになっても現役で居られることではないでしょうか、年を取っても元気で活力があれば何事もなしようと思います。兵庫県と言う地域は南北

に広い。それは瀬戸内海から日本海まで。日本列島の中で唯一の県域に私達は住んでいるわけで急に集合を掛けてもなかなか一カ所に全員が集合すると言う事は困難であると思っています。去年は12月に今年4月26日土曜日に集まりました。4月は村上君、原田君、深澤君、岩城君、平井君、荒垣君、美川君、中森君、水田君、小川君、高橋和夫君、南木君、廣瀬君と私の14名でした。この14名と言う数は兵庫県みとわ会としては半数に近かつたと思います。毎年春と秋の2回のみとわ会を開いておりますがこの春は今迄にない出席率でありました。4月の会合の時、何年振りかで西宮の平井君が出席してくれました。皆が懐かしがって色々な問題に花が咲きました。ご承知の如く平井 博君は八月下旬に有つてはならない不幸な事故（これは全国ネットで全国民の知る所です）に遭われ私達としては大変なショックでした。御通夜、告別式と西宮の楠会館は大変な列ができ人々の悲しみをさそつておりました。最初に私は健康について、ふれましたが、平井君が一億人以上の中で殆んどないと思われる様な不慮の事故に遭遇された事を考えると、自分の行動が消極的になるかも知れません。けれども同級の殆んどが70歳を過ぎているとすれば平井君の死を越えて元気に頑張らねばとは思いませんか。彼の分まで生きてこそ彼に対する祈りであると思っております。11月の下旬には彼、平井君を偲んでみとわ会を開催致します。多数のご参加を待っております。追つてご通知致します。

(幹事代表 関川 健)

専門32回

松茸にさんま、地酒で一杯、食欲の秋スポーツの秋、一昔前と違ってあまり興味がわいてこない。年をとつたせいかなと少し淋しくなる。同窓会報を開いても総会の予告と報告と訃報ばかり、人生の秋を感じる。

8月31日に與那嶺君が亡くなった。昨年末に食物が通らなくなり検査を受けた所、胃と肝臓の癌で肝臓の方はもう手術は出来ないとのこと。

余命3ヶ月と宣言されると淡々と語る彼にこちらが胸をつまされ涙ぐむと彼はお前が泣くことはないやないかと笑う。その後抗癌剤と活性水、遺伝子治療でたまたまかかって来たが効果の出ぬままこの世を去ってしまった。やはり淋しい。

話は変わって先日関西ミッドシニア選手権に出た。65才以上の150人が上位10人の全日本出場をかけて競い合う。2日間で150ストロークがラインだと決めて挑戦したが惨敗、頭の中には全盛期のゴルフしかないので予定を少しオーバーするともうだめだと投げってしまう。人生全て同じ様なものだ。だんだん粘りがなくなる。楽しみのゴルフに切り変えてスコアに関係なく出来るだけ長く出来る人は幸せだ。中には競技一筋でやってきて限界をさとりやめてしまう人がいる。自分もそうな様な気がする。

なにはともあれ元気で仕事が出来趣味を楽しめるのは幸せだ。中塚君が会長に就任し医政に意欲を燃やしているのを見習わなければならない。悲観的なことばかり考えないでプラス志向で残る人生を楽しもうではないか。みなさん頑張ろう！
(藤本和夫)

大7回 七夕会

第39回七夕会総会は神戸で

5月に開かれた第37回七夕会(大阪・ホテル阪急インターナショナル)の席上で、次回の七夕会の当番県に指名された。3月の兵庫七夕会で下井田君から代表幹事を引き継いで、いきなりの大役だが、これは元来、一昨年(第36回)七夕会を引き受け、会場もホテルオークラに内定して準備を進めていたのが震災のため中止になり、その後2年に亘って京都、大阪で開催した経緯がある。

この準備のために遠方の会員にまで御足労願わずとも済むよう、阪神間の七夕会会員を中心に8名の準備委員(岩城、嘉ノ海、香山、下井田、橘、西海、三坂、木許)で諸事を協議し、平成10年5月16日(土)、会場は、北京料理・第一楼(中央区江戸町94)に決定した。これは、このところホテルでの開催が定着してきている

のを、今回は『神戸』が持つ国際都市の一端をアピールしたいと考え、中華料理の専門店を選んだ次第である。

今後、詳細については漸次決めて行きたいと考えているが、その前に兵庫七夕会全員で会場の下見を行い、ご意見などを寄せていただく予定にしている。いずれ近日中にご案内致しますので、ご参集方、お願い致します。

(木許隆道)

大10回 ひとつ会

“36回総会”神戸大会を控えて

秋も深まり一年中で最も良い季節となっております。

ひとつ会の皆様には、その後、御健勝にて御活躍のことと思います。

今年は5月24日に母校の創立85周年記念、並びに樟葉新キャンパス完成記念に合わせて、我々ひとつ会の36回総会が大阪ロイヤルホテルに於て大阪ひとつ会のお世話にて盛大に行われました。それに先立ち、4月26日に兵庫支部の総会を行いました。ゴールデンウィークの前でもあり、既に旅行に出掛けられた方も多く、僅か10名という少々淋しい総会でした。

来年、平成10年9月19日(土)には、兵庫県ひとつ会の当番で、新神戸オリエンタルホテルに於て36回総会を開催することが決定しております。

阪神・淡路大震災の折にいただいた全国同窓の暖かい御援助に報いるためにも、総会を成功させなければなりません。どうか、皆様の御協力を是非お願い致します。

兵庫県は全員登録していただくよう今からお願ひしておきます。

今後の予定といたしまして、暮の忘年会、4月の総会、5月にゴルフコンペを行いたいと思っております。一人でも多くの参加をお待ちしています。

すぐに寒い冬がやって来ます。皆様どうか健康に留意し、日々の診療にお励み下さい。

又の再会を楽しみにしております。

(小島康二)

大14回

大地震から3年を迎えようとしているが、我々14回生もなんとか、無事に自宅、診療所を立てなおしている。被災の強かった東灘区の石崎君、兵庫区の岡田君、長田区の阪本君も復興したようです。表面上は震災以前と変わらない生活ですが、しかしまだまだその傷跡は大きく、とくに阪神地区の同窓生にとっては患者減、収入減に悩まされているのが実情です。

昨年の第38回会員大会（於：新神戸オリエンタル）で震災後久しぶりで青山、石崎、奥藤、坂本、中井、浜田、藤田（徳）、本庄、丸橋、吉本、淀君等が顔を合わせ大会終了後ホテルのラウンジで診療所のこと、家のこと、家族のこと、などを話し交友を深めました。

また昨年10月に卒業30周年記念式典を帝国ホテルで、準備委員長、大西紘充君が担当し100余名の参加で盛大に開催され当日成川公一君、浜田充彦君が記念講演を行いました。式典の前日に関西ゴルフクラブで26名の参加のもとゴルフコンペを催し西川文男君が優勝しました。

震災までは1年1回の「タナバタ会」の会合（三宮へ飲み会）とゴルフコンペを催してましたが、中断のままで、ほつほつ今秋にでもと言う声が上り、11月に開催する予定です。

「タナバタ会」のメンバーは中塚昭君が滋賀県に転宅、岡宏美君が3月に亡くなり現在20名と少し淋しくなりましたが皆んな仲よくよくまとまった会だと思っています。

明るいニュースでは旧Aクラスの井上正義君が母校の保存学教室の教授に就任したことです。

（本庄 紘）

大15回・昭和42年卒

労働衛生界に歯科医師の足場を築くために、
歯科医師のご理解を

正義感と若気のいたりで、労働衛生と言う奥深い所で迷って居ります。

投稿の機会にご理解とご支援をお願いします。

I 労働衛生とは

①労働者の健康確保 ②労働者が職場で健康

を害する環境を排除するだけでなく、快適に過ごせる職場作りにも配慮すること。

例えば、事業所健診で上顎全前歯部頬側面にエナメル質形成不全のようなカリエスや、難聴を伴う極度の咬耗と低位咬合や、臼歯部欠如のまま放置による頸肩腕症候群等を見つけた時、作業現場が有機溶剤取扱いや騒音職場、重量物取扱い職場の場合、職場巡視無くして判断出来ない。従って、産業歯科と言えども職場巡視のない事業所健診は考えられない。これは、労働安全衛生業務にたずさわる職場の常識であり、巡視するのに労働衛生コンサルタントである必要はない。

もうひとつ、事業所検診で明確にする事は、確かに公衆衛生の一分野が労働衛生である。

しかし、保健所の健診費用は、公的予算であるが、事業所健診は、事業者予算である。

地域予防業務は、8020運動のように目標に向かって一進一退であっても、将来の長期展望があれば、住民の支持が得られるが、事業所検診は、実現可能な短期目標に向かって（目に見えるサービス）で、事業者が納得の上でやっと某のお金をいただける。サービスが目に見えなければ報酬が伴いにくい。

II 労働者衛生コンサルタントから見た歯科業界

事業者である院長は個人の職場の健康を害する環境の排除は、院長の事業者責任である。

一方では、ほとんどの院長は、不特定多数の患者の雑菌の舞う湿潤な牙粉の口元で、多様な作業姿勢、劣悪な労働環境、保険診療による低賃金（倒産前の事業主でも、最低賃金法の適用外）。過労とストレスが原因と思われる高血圧、心疾患、糖尿等を発病しても、退職しないかぎり、小職場内の配置転換の手だてもない。

自医院の快適職場をめざして、歯科医師会が窓口になって労働福祉事業団から長期低利融資の道を開いて欲しい。

また、経営の大きな部分を国益によって左右される医療職の医院長は、労働者としての権利をもっと要求すべきでしょう。

Ⅲ 歯科医師会が労働界への試案作成

高齢化社会、少子社会に向かって、歯科医師会として、大きなビジョンを世間に提案するべき時です。老人だけが、医療費の権化で、薬は医者悪の巣に集う金の卵を産む鳥のように言われる。しかし、後者は、新薬の抗生物質が市場に出ず、耐性菌が蔓延り、既に治らない病気、中耳炎、結核等が出てきている。前者は、高齢化社会後に、人口が減り、少子社会で労働者はいなくなり、生産活動ができない。そこで、寝たきり老人を予防し、退職者の体力年齢を引き下げ、これらの福祉の社会資本を当面の生産人口増加に振向けようと言う計画がトータルヘルスプラン（THP）である。

このTHPに顎関節症に関連した歯科的要素をなぜ国民に提案しないのだろうか？

今や、「働く、動く、立つ」事に、直接間接的に歯の影響を全く否定する人はいないだろう。THPに取り入れるべく試案をぜひ作ってもらえないでしょうか？

平成9年9月
労働衛生コンサルタント ヘルスメーカーリーダー
(心理相談員 水田耕司)

大19回

大阪歯科大学19回兵庫県支部同窓会



8月2日、阪本義之、井上泰介両幹事のお世話で、神戸第一楼に於て大歯19回兵庫県支部同窓会を開催しました。

来賓として中塚会長、井堂兵衛専務に御臨席を賜り盛大に開宴することができました。

阪本幹事の司会で村上彰廣代表挨拶、中塚会長、井堂兵衛専務の来賓祝辞、そして庄司武會計の会計報告、その後村上英夫君の乾杯の音頭で宴会が始まり料理と酒を満喫。

日頃顔を合わせていても同窓会ともなると別で、今の保険制度の現状を憂い、遠慮なく大いに語り予定の時間も「あっと」いう間に過ぎ、その後2次会、3次会へと繰り出し予想通り学生時代にタイムスリップをし、明日の悪酔いの辛さも考えず久々に若さを取り戻した。

最後は近日再会を約束し散会。

今後の予定は平成10年秋、岡山にて19回同窓会、兵庫支部同窓会は第3支部が担当、日時は未定、次回も多数の参加をお願いします。

(村上彰廣)

大20回 二斗会

二斗会兵庫県同窓会

今年4月に神戸市の前田照太君が補綴学第三講座の助教授に就任されました。又、堺市の神原敏之君もこの秋歯科矯正学講座の助教授に就任されておられます。前田君は兵庫県出身ですのでお祝いも兼ねクラス会を計画しています。平成9年中に開催しなかったのですがご本人も学会等忙しく平成10年1月に予定しています。

万障お繰り合わせのうえご出席下さいませようをお願いいたします。

日時、場所につきましては改めてご連絡いたします。

(勝山篤信)

大27回 飛翔会

私たち大学27回生は、2年後に卒業20周年を迎えます。

平成11年5月に20周年記念式典を執り行うことを決めており、準備委員会を組織し、より充実した20周年を迎えられるように検討中です。先輩たちが行ってこられた20周年を参考に、飛翔会らしいものにしていきたいと考えています。兵庫飛翔会といたしましても、記念式典など、

できる限りの協力をし、そのためには、積極的な参画はもちろん、口だけの参加も重要ではないかと考えています。そこらは得意なわれわれですから、いろいろな意見を結集させていくつもりです。

ところで、兵庫飛翔会も今年で結成10周年を迎えました。昭和62年5月に井口利彦君の提案で集まり、三宮ターミナルホテルで総会を開いてから10年、7回の集まりを経て互いの親交を深めてまいりました。彼のリーダーシップの下、45人の会員が楽しく結束してきたこの年月を、少しでも長く継続させていきたいと考えています。今まであまり参加されなかった先生も、久しぶりの先生も、ぜひ集まって下さい。同窓会の魅力はそこから生まれてくるわけですから。

(藤沢昌績)

大29回・仁玖会

仁玖会の皆様、お元気でお過しでしょうか。

平成9年のこの時代は、神戸市須磨区の小学生殺傷事件に代表されるように、全国各地で、痛ましい殺人事件が次々と起こりました。それも、まるで劇画や映画のフィクションを見ているようなハデな事件が続いています。8月には、新神戸オリエンタルホテルで起きました山口組の暴力団抗争に、巻き込まれた先生が、お亡くなりになりました。無差別な事件だけに、怒りを覚えます。

このように、私たちの周りで実際に起こっている色々な事件は、多種多様になり、何も咀嚼しないまま、次々と出される映像のようです。見ている我々が、戸惑っている間に、時代が過ぎていくような感じさえます。

昔、私たちが学んだ“道徳”や“倫理”というものは、現代では存在しないのでしょうか。このような事件にしても、汚職の政治家にしても、現代は、この基盤が壊されて作られたような気がします。

こんな時代の中で、不意に周りから巻き込まれる“事件”に、家族すら守ることができないかもしれないと、“無力”な自分を感じます。

仁玖会の我々も、もう4代になりました。「40にして惑わず」ですから、そろそろ落ち着いた安定を願わずにはられません。

さて、平成9年の同窓会、そして、仁玖会についてお伝えします。

去る5月24日には、母校創立85周年、“楠葉新キャンパス”並びに“天満橋新病院”落成を記念しまして、第13回全国同窓会会員大会が行われました。楠葉学舎、天満橋新病院の見学もあり、全国から多数の会員が参加されておりました。

私は、天満橋新病院のみ、見せていただきましたが、先ず始めの第一印象は、「ホテルみたい」でした。そして、その美しさ、その大きさに圧倒されました。受付にかかるエントランスは清潔で、診療室における個々のチェアは最新式で、とても贅沢な感じさえました。最上階にある食堂で、ビールを頂きましたが、そこから見える大阪城の見事さは、素晴らしい一言でした。我々が利用させて頂いた食堂を思い返すと、まるで自分が浦島太郎のような存在で、今の学生に嫉妬さえ感じます。学生諸君、せいぜい勉学に励みたまえ！

ここに改めて、大阪歯科大学新学舎、並びに、天満橋新病院の完成に、心からお慶び申し上げます。

同日に、我々仁玖会も、天満橋キャッスルホテル錦城閣に於いて、同窓会を開きました。来賓として、同窓会本部副会長、益川先生をお招きし、80名近くの参加者が集まり盛会でした。栗原先生の挨拶の後、同窓生の義援金に対して、坂本先生から感謝の言葉がありました。その後は、いつも通りの和やかな酒会となりました。その中で、元同窓生が、仁玖会へ入会することが発表され、我々に仲間が増えることが決定しました。「仲よきことは美しき事哉」と申しますが、とても喜ばしく思っています。

今後の予定ですが、2年後に、石川県が当番で行うことが決まりましたので、報告させていただきます。その時は、是非皆さんのご協力とご参加を、宜しく願います。

(赤井高之)

京城

大歯同窓会と私

中塚会長のお名前でご同窓会会報にエッセイをとのこと、私にとりまして大阪歯大の同窓会には山よりも高く、海よりも深い大恩があります。戦前は勿論特に終戦直後の混乱時代、引揚げて来た京歯の1年、2年、3年の各学年の在学学生を大歯の学生として転入して下さい、教育中途の学生を立派に大歯の卒業生として社会に活躍させて下さった。私は京城中学から京城歯科に昭和7年入学、昭和11年(1936)に卒業。当時の歯専は東京に4校(女子2校)、大阪1校、九州1校、京城に1校、計7校であった。私の学生時代は男女共学でした。私在学习中は大阪歯科の大先輩矢尾太郎教授、西山幸男教授、垣見庸三教授の講義を受け、卒業試験の時文部省より試験官が来て立ち会いました、現在の国家試験の走りだったと思われる。

卒業と同時に母校要員として組織学教室の助手を拝命、主任教授が西山教授で医学博士を授与された直後で、その時代は歯専には論文審査はなく大学の研究室にて研究し、論文提出の順なので私も直ぐ西山教授に続いて、京城帝大の津崎孝道教授の教室に西山教授の席を引継ぎました。昭13年(1938)京都大学での日本医学会の分科会歯科医学会にて第1回発表の時、大歯

専に御挨拶に西山教授のお伴でお伺いした。其の時朝比奈校長、白数教授にお言葉を賜り、堅い温い握手を頂いた、其の時の感動は忘れられない、「君達若者は(学友のこと)、朝鮮と言広い所の地域医療に、又満州、北支に進出して歯科医業の発展に活躍をなさい」と京歯の校長柳樂達見博士と同じことを申された。彼の時の温い握手の感触は70年の昔が今日のように思われ、目頭まで熱くなる。

学術ではハルピン大、満大、開業では、奉天、大連、青海、北京等に大陸に大活躍の学友は、1945年~50年に掛けて、悠々たる植民地生活から、裸一貫で引揚に苦勞して、祖国日本に帰って来た。

各人再建に苦勞した。これを卒業50周年記念誌として私が文責で作し、国会図書館、US41-3209、(JP.87-18382)に登録されている。引揚の苦勞はそれを読むとよく解るが、昭和25年兵庫県歯科医師会の会員となって、兵庫区で23年、西宮市で24年、其の間、約50年、大阪歯科同窓会の御恩は忘れたことはない。恩に報いたい、京城時代の親の光であったが、年々共に昔が恋しい、兵歯50年間の「大歯と私」は又次回続きを書きましょう。

(西宮市 徳丸定樹)

お知らせ

第40回

大阪歯科大学兵庫県同窓会 会員大会 新卒会員歓迎会

平成10年8月8日(土)

受け付け：午後2時

開式：午後3時

懇親会：午後4時

新神戸オリエンタルホテル10F 真珠の間

平成10年1月22日

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話 (078) 351-4181

編集発行人 和田 透
